

千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第16週 (4/13-4/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		16週	15週	14週	13週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	4	5
	インフルエンザ*	27	27	27	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			4/13-4/19	4/6-4/12	3/30-4/5	3/23-3/29	4/6-4/12
			16週	15週	14週	13週	15週
小児科	RSウイルス感染症		4	2	5	4	10
	咽頭結膜熱		4	6	3	4	59
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		54	51	43	45	362
	感染性胃腸炎		112	98	100	111	630
	水痘		4	9	5	7	53
	手足口病		7	0	0	1	5
	伝染性紅斑	→	22	22	8	8	130
	突発性発しん		15	14	14	10	60
	百日咳		0	0	0	0	3
	ヘルパンギーナ		0	1	0	0	2
流行性耳下腺炎		3	3	2	5	58	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		68	29	55	75	308
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	1	0	1
	流行性角結膜炎		0	2	0	4	23
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	1	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	1	0	3

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査等	急性脳炎	男性	10歳未満	意識障害等
結核	女性	30歳代	病原体等の検出	急性脳炎	女性	10歳代	意識障害等
結核	女性	90歳代	病原体等の検出等	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	男性	80歳代	病原体等の検出
結核	女性	30歳代	IGRA検査等				

・結核4件(57)、急性脳炎2件(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(5)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第16週のコメント

＜伝染性紅斑＞前週に引き続き1.22であった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

＜伝染性紅斑＞

全国レベルの2015年第15週現在は、過去8年間の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、関東地方で多めで滋賀県、千葉県、東京都の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより飛び抜けて多くなっています。千葉市の2015年第16週は、前週から横這いで1.22となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況では、緑区(2.5/定点)で最多で、同区の5歳で最も多く発生が報告されました。2015年第1週から第16週現在の累積報告数(n=157)によると、性別では男性が53.5%(84名)、女性が46.5%(73名)で、年齢階級別では7歳(17.2%:27名)、6歳(16.6%:26名)、3歳(1.46%:23名)の順に多くなっています。

